

時間割コード	G2B45605	開講年度	2026				
授業題目	新聞をつくろう！(MGプレス制作ゼミ)				担当教員	太田家 健佑	
英文授業名	Let's Create a Newspaper!					高野 嘉寿彦	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・4時限	対象学生	全
講義室	共通教育2 3 講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学DP						
	的確に情報を収集し、理解し、発信する力				⇔	適切な内容の新聞記事を書ける	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース						
(4)授業の概要	『MGプレス』は、前身である『松本平タウン情報』の時代から長らく、松本、安曇野、塩尻市など中信地方で約10万部の発行を続けてきたタブロイド判の地域情報紙です。毎週4回発行され、信濃毎日新聞の朝刊に折り込まれています。ウェブサイトもあり、一部の記事を掲載しています。その紙面づくりに学生自身が加わることを通じ、「地域におけるメディアとは何か」を学び、その過程で、分かりやすい文章の書き方、コミュニケーションの方法などを身に付けることを目的とします。 このために新聞をつくるための基礎知識を学び、実際に編集発行作業をされている実務経験者からの支援のもと、実際の紙面をつくります。メディアのあり方、取材の仕方、写真の撮り方、新聞の組み方などを講義します。以上のことをグループごとに、選定したテーマに関する編集会議を重ねながら、実際に取材、執筆、整理制作を進めます。						
(5)授業のキーワード	コミュニケーション、問題発見・解決、グループワーク、フィールドワーク						
(6)授業計画	1 オリエンテーション 2 新聞記者の仕事 3 地域情報紙の役割 4 地域情報の発信～紙とネット 5 地域情報紙の影響力～取材を受ける側から 6 記事制作の実習～受講生同士で取材し、書いてみる 7 記事の寸評&個人の取材テーマ発表 8 取材テーマ検討・グループ分け 9 グループで取材テーマ整理 10 取材・記事執筆 11 取材・記事執筆 12 取材・記事執筆 13 組版作業を見学@MGプレス社 14 記事を校正・追加取材 15 掲載紙面発表・評価、授業アンケート (5までは座学、6以降は実習。内容は変更することがあります)						
(7)成績評価の方法	編集会議における各グループで取り組むテーマの実現に向けた討議への参画姿勢および記事として掲載される最終原稿の作成で評価します。 期末試験は行いません。						
(8)成績評価の基準	最終原稿の評価では、常時のゼミでの活動と合わせ、記事となる最終原稿には直接に現れない部分も含めて、(i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i) から (v) の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。						
(9)事前事後学習の内容	記事制作にかかる練習としては、たとえば毎回の授業を新聞記事になるように実際に書いてまとめてみるとよいでしょう。また、そうした「記事」をゼミ参加者で相互に評価してみましょう。こうしたことに限らず、普段から取材や記事制作の目で物事を捉え、そして書く練習を繰り返してください。 ※この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(10)履修上の注意	社会情勢によっては、学校外での取材活動ができない可能性があり、その場合には参加者全員の記事を掲載できない可能性もあります。それでも紙面づくりに関する活動は進めます。 以下を熟読し、ふさわしい態度で授業に臨んでください。 ・積極的に授業に参加し、問題意識を持って取材や記事の執筆に取り組むこと。 ・欠席の場合は、必ず連絡を入れること。 ・選んだ仕事を、責任を持ってやり遂げること（授業時間外にも、取材や記事の執筆を行うことになります）。 ・MGプレス社から、原稿等について連絡があった際には、きちんと連絡を返すこと。 ・学外での取材活動においては事前に講師への連絡をすること。 ・4回以上の欠席があった場合には、単位を認めない。						

(11)質問,相談への対応	メール:k_ohtake[あっと]shinshu-u.ac.jp [あっと]を@に変換.
(12)授業への出席	毎回の活動に参加することが基本です. ※感染症等に関してはその限りではありません. 信州大学共通教育履修案内『出席・欠席について』に記載の規定に従います. 感染症罹患時の出席は厳に禁じます. 特にグループによる取材活動が始まって以降は事前に, 毎回の作業状況をグループメンバーと共有すること, およびグループ担当指導の方との連絡を欠かさないように進めてください.
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	取材活動を除き, 課題によってはオンラインでの課題提出で替えることが可能です.
【教科書】	指定しません.
【参考書】	授業では用いませんが本授業で扱う課題をより深めたい受講者は以下の本を参考にしてください。 ・共同通信社編『記者ハンドブック』（共同通信社）